

美しい多摩川フォーラム・第2回運営委員会議事録

日 時 : 平成29年1月26日(木)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科委員長・教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授
副会長 平岡 治房 青梅信用金庫 理事長
顧 問 永田 俊一 楽天銀行(株) 取締役会長
委 員 蛭間 浩之 東京都西多摩建設事務所 管理課長
山宮 忠仁 奥多摩町 企画財政課長
輪千 徳也 青梅市 建設部 計画調整担当 主査
小森 公夫 日の出町 産業観光課 課長
小作 聡一 羽村市 産業振興課 商工観光係 主事
田部井 則人 狛江市 企画財政部 政策室長
太田 武彦 大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当係長
千坂 航 京王電鉄(株) 広報部 課長補佐
大東 一裕 東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部 環境課課長
木村 康雄 東京都森林組合代表理事組合長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館館長
堤 香苗 (株)キャリア・맘 代表取締役
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長
前田 裕彰 近畿日本ツーリスト(株) 首都圏西団体旅行支店支店長
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長
藪田 雅弘 中央大学経済学部教授
森田 昇 青梅信用金庫会長
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 鹿田 哲也 東京都建設局 南多摩東部建設事務所長
澤田 實 東京シティガイド
講 師 佐野 裕紀 東京都南多摩東部建設事務所 工事課 河川設計総括担当 主事
オブザーバー 岡田 拓也 東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理
西村 亜輝彦 狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事
田村 啓司 青梅市 市民部スポーツ推進課 スポーツ推進係長
(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)第1号議案:平成29年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(資料 1)大田区より第9回・寄付金の贈呈(11/11)

(資料 2)多摩川“水”大学講座開催(全6回・11/11 最終回)

(資料 3)第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/12、11/19 雨天中止、11/26)

(資料 4)第3回・美しい多摩川フォト教室開催(11/25)

(資料 5)ドローンを活用した多摩川の空撮現場の事前調査(11/30、12/6、12/28)

(資料 6)第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/10)

(資料 7)多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/28～11/13)

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成28年度第2回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて55名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

始めに、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(東京都建設局 南多摩東部建設事務所長 鹿田 哲也 様)

鹿田です。よろしくお願ひいたします。南多摩東部建設事務所は町田市にあり、所管区域は町田市・多摩市・稲城市になります。多摩川に流れ込む川として、大栗川・乞田川・三沢川の3川を管理しています。本日は、工事課の職員がお話をさせていただくことになっておりますので、よろしくお願ひいたします。

(奥多摩町 企画財政課長 山宮 忠仁 様)

山宮と申します。奥多摩町は、東京の西端部にあります。行政面積は東京都の1/10あり広大ですが、秩父多摩甲斐国立公園を有しているため、人口は5,200名ほどの過疎の町である一方で、多摩川も流れる自然豊かな町です。これから皆さまに色々と教えていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(羽村市 産業振興課 商工観光係 主事 小作 聡一 様)

小作と申します。昨年の4月に現在の部署に異動し、この会に初めて出席いたしました。不馴れではありますが、勉強させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

(青梅市 市民部スポーツ推進課 スポーツ推進係長 田村 啓司 様)

田村と申します。本日はよろしくお願ひいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。平成28年度第2回目の運営委員会です。今日、モノレールに乗ったら、富士山が白無垢の花嫁姿で美しかったです。日本海側は大雪で大変のようです。地球のリズムが崩れているのでしょうか。環境について、もう少し考えなければならぬと思います。アメリカの新大統領は、あまり環境のことを考えていないようで、忌々しき問題です。

日本から発信していかなければならないのかなと思います。それでは、事務局から経過報告をお願いいたします。

3. 講話

(事務局)

はい、今日は、「大栗川・乞田川の環境整備について」というテーマで、講師に東京都南多摩東部建設事務所 工事課 河川設計総括担当 主事の佐野裕紀様をお迎えし、お話をいただきます。フォーラム会員の皆様には、流域の市民と行政が一体となった河川整備に関する現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。

ここで、講師の佐野裕紀様のプロフィールをご紹介します。昨年度新規採用で入都、工事課河川設計係に配属され、現在、河川の設計や土砂災害対策の仕事に従事されています。なお、本日は課長代理の岡田拓也様にご同席いただいております。

前方のスクリーンにパワーポイントの画像が映し出されますので、ご覧ください。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理 岡田 拓也 様)

岡田と申します。本日はよろしく願いいたします。先ほど、所長からも話がありましたが、東京都の稲城市・多摩市・町田市の3市を管轄する建設局事務所です。本日は、限られた時間ではありますが、「大栗川・乞田川の環境整備について」というテーマで、我々の事業の一端をご説明させていただきます。昨年2月25日の「平成27年度・第2回三部会合同部会」で「大栗川の環境整備について」という内容で一度発表させていただいております。本日は、一度中止していた乞田川の整備を進めることになりましたので、そちらの話も含めて、我々が進めている工事について説明させていただきます。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 河川設計総括担当 主事 佐野 裕紀 様)

ただいまご紹介いただきました、佐野と申します。本日は、大栗川・乞田川の環境整備についてご説明させていただきます。

まず、大栗川・乞田川の概要について説明します。大栗川と乞田川は、ともに多摩川水系の一級河川で、大栗川は、八王子市鎌水付近を起点とし、ほぼ西から東へ流れます。乞田川は、多摩市鶴牧を起点に、多摩市のほぼ中央を流れ、多摩市連光寺で大栗川に合流します。合流後は国土交通省の管理下となり、多摩川に流れます。

流域面積と延長は表の通りです。当事務所では、大栗川で3.2km、乞田川で4.4kmの管理を行っております。

続いて、大栗川・乞田川の現状と課題についてご説明します。昭和40年代の多摩ニュータウン開発に伴って大栗川と乞田川の整備を行い、大栗川は昭和61年度に、乞田川は昭和50年度に河川改修が完了しました。現在は、河川改修から30～40年経過したことで、

護岸の隙間から草が生える等、護岸の老朽化が進んでいます。一部では、防災工事により安全性の向上を図っているところではありますが、写真の通り、豪雨の際に護岸の一部が壊れてしまう事があります。このような現状をふまえ、護岸の安全性を確保するため、再整備が必要となっています。直近の被害については、昨年8月に台風9号が通過した際、大栗川付近で避難警報が発令されたのは記憶に新しいと思いますが、乞田川では、河床の洗掘防止のために設置している護床ブロックがめくれ上がってしまうことがありました。

現状と課題の2点目は、大栗川と乞田川は多摩ニュータウン開発に伴って整備したため、治水機能を最優先に河川改修を行いました。そのため、護岸コンクリート張りとなり、緑が乏しく、水辺に近づけない護岸となってしまいました。

以上の現状と課題をふまえ、「水と緑に囲まれた、自然を感じられるまちをつくろう」という大きな目標を目指し、以下3点の内容で環境整備を進めることにしました。

①河川緑化の推進

護岸の緑化や植栽を行います。

②親水性の確保

水辺に親しめる散策路や階段を整備します。

③護岸の安全性の確保

緑化にあわせ護岸を整備し、老朽化した護岸の安全性を高めます。

続いて、大栗川堤防緑化工事の概要について説明します。このスライドは、近年、大栗川で緑化工事を実施した範囲を示した図です。画面左から右に向けて大栗川が流れています。平成21年度に大栗橋上空から緑化工事を着手し、平成28年度現在で完了済み区間の延長は約1300メートルになります。現在は、赤色で示している宝蔵橋の両岸約220メートルと上流右岸140メートルの工事を行っています。

次のスライドは、これまで実施している大栗川の環境整備の概要を示しています。まず、緑化に合わせて桜やシバを植えています。次に植物が生育できるような材料で護岸を整備するとともに、河床幅を広げることによって生物の生息空間を確保しています。また、護岸の中段に遊歩道を整備し、水際に近づけるよう階段やスロープを整備しています。

こちらは、平成25年度から27年度に施工した箇所、明神橋から下流側を撮影しています。左が施工前の写真、右が施工後の写真です。緑化ブロックに生物が生育し、緑が増えています。また、遊歩道の整備により、下流から連続して歩けるようになりました。さらに、地元の要望を受け、飛び石等も設置しております。

こちらは、現在工事を実施している箇所になります。左は宝蔵橋下流から明神橋に向か

って撮影した写真です。現在、右岸側の工事が終わり、左岸側の工事に着手しております。右の写真は、宝蔵橋上流右岸側を撮影したもので、現在、既設の護岸の取り壊しを行っています。これらの工事が完了すると、明神橋・宝蔵橋の下を遊歩道で通過できるようになります。こちらは、現在右岸側で工事を行っている宝蔵橋上流区間について、兩岸ともに整備が完了した際のイメージ図になります。

続いて乞田川緑化工事の概要を説明します。こちらは、乞田川緑化工事の事業予定範囲を示した図になります。これまでに防災工事および緑化工事を実施した区間は、黒線で示しております。平成28年度までに約1300メートルの再整備を行っており、そのうち、約400メートルを緑化工事しております。今年度は、赤丸で囲っている新大橋上流右岸側を工事しております。なお、今年度以降も上流の上之根橋に向けて順次工事を進めていく予定です。

こちらは、乞田川緑化工事の施工前後を比較した写真です。左が施工前、右が施工後です。平成21年度に緑化工事として初めて施工した箇所です。老朽化した護岸の再整備を進めるとともに、遊歩道を整備することによって、諏訪下橋の下を通行できるようになりました。

こちらと同じく平成21年度に緑化工事を行った箇所になります。既存の護岸と比べ、河床幅を広げ、より広い遊歩道の整備を行いました。現在施工している工事が完了すると、この区間は下流側に繋がるようになります。

護岸の再整備にあたっては、左の写真のような、石の隙間に土を入れることで、植生の繁茂が期待できる多自然ブロックを採用しています。また、護岸の傾斜が急な場所には、ポット部分に土を入れ、低木等を植栽することができる護岸を使用することで、緑化を図っています。護岸の中段には遊歩道を整備しています。また、階段だけではなく、スロープを整備することによって、今までよりも多くの方が水辺に近づくことができ、川のせせらぎをより身近に感じることができるようになっています。

護岸の傾斜が緩い区間でも川に親しめる機会が増えるように、河川管理用通路から水際にアクセスできる階段を設置しております。近隣の小学生の環境学習の場としても利用されています。これまで整備してきた区間では、可能な限り遊歩道で橋の下を通れるようにしています。これによって、今までより水辺のフットワークがより連続的になることで、川辺の散策をする際、連続的に楽しむことができるようになります。

乞田川では、過去の河川改修の際、治水機能を最優先とし、直線的な川として回収を行

ったため、河床勾配が急であり、左の写真のような落差溝がいくつか整備されています。緑化工事に合わせ、右の写真のような、魚道を設置しています。

ここまでが、乞田川緑化工事の一般的な内容となっています。

続いて、現在施工している乞田川緑化工事の内容についてご説明します。こちらは、現在施工中区間の整備概要図になります。画面の左側から右側に乞田川が流れており、新大橋の下流の整備済区間から、上流にある大貝戸小橋までの右岸側約290メートルについて工事を行っています。

こちらが、新大橋上流区間の標準断面図になっております。特徴としては、右岸側の護岸を既存のものより急にすることで、より広い遊歩道の整備を行い、親しみとるおいのある河川空間を創出することができる点、また、左岸側の護岸には植生の繁茂が期待できる多自然ブロックを水際まで採用することにより、緑豊かな水辺を創出することができる点、以上2点のバランスを考えた断面となっています。

こちらは、現在工事を実施している箇所を大貝戸小橋から下流に向かって撮影した写真です。現在、右岸側の歩道より川岸護岸を積み上げている最中です。両岸ブロックという、表面の凹凸が大きなものを使用することで、表面にコケが生え、時間とともに自然と馴染んだ環境になることを期待して採用しています。

こちらは、現在工事を行っている大橋上流区間について、両岸とも整備が完了した際のイメージ図です。以上が現在施工中の乞田川緑化工事の説明です。

最後にご紹介するのは、こちらは、乞田川沿いにある多摩第三小学校より要望を受け、昨年9月20日に6年生を対象に総合学習の一環として乞田川緑化工事について出前講座を行った時の写真です。当日は、子どもたちに興味を持ってもらえるよう、工事の内容だけでなく、護床ブロックの重さについてのクイズを取り入れました。子どもたちからは、「橋の名前はどやって決めるのか」など、具体的な質問が多く寄せられたとともに、昨日1月25日にも、一連の総合学習の成果の発表も聞かせてもらいました。そのお陰で、子どもたち、地域の住民の方々の関心の強さを肌で感じることができました。今回の講演や出前授業を通し、情報公開の重要性や、事業に対する理解を深める良い機会となりました。以上で私からの説明を終わります。ご静聴有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(堤運営委員)

私どもの最初のオフィスが上之根橋にありました。護岸が整備され、アオサギやカルガモたちが来るようになりました。3点ほど質問があります。1点目は、「サイレンが鳴ったら上まで上がってください」等の立て看板はあるのでしょうか。これだけ素敵に整備されると、きっと子どもたちが水辺で遊ぶと思いますが、上流で雨が降った時、川の水位が上がった時のアナウンスなどはあるのでしょうか。2点目は、目に障害がある方、ベビーカーの方、車いすの方が、きれいになった遊歩道を楽しめるような工夫はあるのでしょうか。3点目は、左岸側はなだらかなブロック、右岸側は遊歩道になっていて、左右が違う形状になっていますが、それには何か理由があるのでしょうか。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理 岡田 拓也 様)

ご質問有り難うございます。1点目についてですが、なかなか難しい問題で、上流の雨の降り方によっても上がるタイミングや判断が難しいです。我々としてできることは、階段があるところや水辺にアクセスできる場所に看板を立て、インターネット等で「情報を入力してください」とお知らせしています。2点目の障害者の方々も水辺を楽しめる工夫としては、スロープを設置しております。福祉のまちづくり条例に則った勾配になっています。しかし目に障害がある方となると、まだそこまでバリアフリーとはなっていません。3点目について、もともと我々が考えていたのは緑化ですので、兩岸とも多自然ブロックを施工する予定でしたが、地元の方の要望で、川沿いの桜を楽しめる、川沿いを歩きける遊歩道を設置することとしました。遊歩道を設置した護岸の傾斜を急にすることで、護岸面積を確保し、治水にも安全を確保できるデザインにしています。

(小倉副会長)

水辺再生の素敵な環境整備だと思いますが、平常時の流量が少ないので、平常時の流量をいかに確保するかも考え、河川全体の整備を考えていただきたいと思います。これは東京都の河川整備計画でもうたっています。今後重要なことだと思いますので、建設事務所の所管の範囲内かもしれませんが、東京都全体を総合的に考えていただきたいと思います。

(山崎運営委員)

落差溝に魚道を作っていただいています。魚道を作る前と後のデータがあれば良いと思います。三沢川はアユで溢れています。大栗川や乞田川も、多摩川に繋がっていますのでアユがいてもおかしくないと思います。把握できていることがあれば教えてください。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理 岡田 拓也 様)

正直なところ、我々の弱い部分です。魚道を設置するにあたっては、過去の調査結果を

使って形状を決めておりますが、事務所自らが調査を行うことはありません。河川水辺の国勢調査が5年おきに実施されていると思いますが、大栗川では調査地点が八王子にあり、どんな魚がいそうだ等のデータはおさえています。魚道を作っている側として、効果を見ていかなければならないと思いますので、場合によっては調査をしている団体と連携ととして生物の確認をしていきたいと思っております。

(山崎運営委員)

有り難うございます。私は多摩区に住んでおりますが、下流部の川崎側で魚類調査を行っており、約50種類前後の魚種が確認できています。今後、三沢川で何かあれば、お声掛けいただければ、子どもたちを100～200人呼ぶことも可能ですので、よろしく願いいたします。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理 岡田 拓也 様)

ぜひよろしく願いします。

(事務局)

時間の関係もありますので、あとお一人ご質問を受け付けます。

(事務局・黒米)

予算ありきかもしれませんが、南多摩東部建設事務所さんで管理されている河川や護岸の改修基準があれば教えてください。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理 岡田 拓也 様)

再整備の基準は特にありません。東京都の河川整備自体、全て終わっているわけではありません。南多摩東部建設事務所所管内の整備も終わっておりません。大栗川と乞田川については、多摩ニュータウンの整備に合わせて100%治水上の護岸はできておりますが、境川や鶴見川の護岸はまだできていないので、頑張って工事をやっているところです。今回は、緑化という視点で再整備する機会が設けられましたが、30年経ったから整備するというような基準はありません。毎年護岸の健全度を調査していますので、その結果を見て、危ないところを優先的に、部分的な防災工事を行っています。

(平野副会長)

時間が無い中すみません。お話を伺っていて、民間の力を借りないといけない部分が沢山あるのだと感じました。例えば私たちの団体も含め、民間の人たちに求めることは何でしょうか。

(東京都南多摩東部建設事務所 工事課 課長代理 岡田 拓也 様)

我々ができることはインフラの整備であり、安全性を確保しておりますが、逆に賑わいの創出、川の付加価値を高めることについては民間の力が必要になると思います。東京都でも一部で専用の護岸基準を設け、カフェにテラスを設置したりもしていますが、川をまちづくりに入れていくという視点においては、民間の力が大きいと思いますので、いかに協力していくか、何らかの方法があるのではないかと考えています。

(東京都建設局 南多摩東部建設事務所長 鹿田 哲也 様)

私から補足説明させていただきます。色々ご質問をいただき、有り難うございます。民間の力や魚のデータというお話もありましたが、今まで、川はどちらかというと嫌われる施設で、川に背を向けて生活をされていましたが、今は川を整備し、むしろ川に顔を向けて、川を生活の中に取り込んだ形でまちづくりするよう考えております。我々行政ができることは、治水・水害対策です。これをやった上で、さらに環境を整え、皆さんが川に親しめるように整備を進めています。そういう意味では、皆さんにお願いしたいのは、ぜひ川を愛していただき、川に親しんでいただき、植物や魚、鳥に関心を持って、地域の団体やNPOで研究や発表をしていただき、色々な人が参加して賑わいに繋がれば良いと思っています。護岸の整備において、多自然型等の環境も含めて整備を行っておりますが、護岸の長寿命化や予防保全型の維持管理で予算を削減する努力もしております。今後ともぜひご協力をお願いいたします。

(事務局)

本日は大変有意義なお話をいただき、誠に有り難うございました。講師の佐野様、課長代理の岡田様に今一度拍手をお願いします。本日、多摩川夢の桜街道のマップを2種類お配りしておりますが、本日お話いただいた流域にも沢山の桜の札所が点在しておりますので、今年の春、足を運んでいただき、川に親しんでいただきたいと思います。なお、講師の佐野様、課長代理の岡田様はご公務のため、ご退席されます。有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

経過報告に入ります。その前に、「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は「独唱バージョン」でお聞き下さい……。引き続き、経過報告の中から特に(3)番の活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

いかがでしたでしょうか。経過報告を続けます。

(1) 大田区より第9回・寄付金の贈呈(11/11)【資料1】

- ・ 【資料1】の2枚目をご覧ください。今年度は10月8日に地元大田区の中学生45名を含む大田区民有志が総勢70名で参加されたほか、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。前のページに戻ってください。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金183,910円については、11月11日に大田区長室において、大田区長より細野会長に贈呈されました。有り難うございました。

(2) 多摩川“水”大学講座開催(全6回・11/11 最終回)

- ・ 5年目となる今年度は、府中市様との共催のもと、5月27日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指しました。なお、第6回目となる来年度は、小金井市での開催を目指して調整中です。本件につきまして、小倉副会長に一言お願いします。

(小倉副会長)

5月27日から11月11日まで全6回が無事終了しました。毎回15名程度の参加者で、活発な議論が行われ、私も勉強になっています。来年度も続けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(3) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/12、11/19 雨天中止、11/26)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。今年の「美しい多摩川クリーンキャンペーン」のポスターになります。今年度は、ポスター制作後、さらに4団体(大田区、富士通株式会社、株式会社ダスキン、明星大学)が正式に参加を決定し、最終的には37団体の参加となりました。次ページをご覧ください。11月12日は、川崎市様のご協力により、新たな清掃会場として川崎市の多摩川河口でクリーンキャンペーンを実施しました。11月19日、多摩市での中流域のクリーンキャンペーンは、雨天のため、多摩市様と協議のうえ、安全を考慮し、残念ながら中止といたしました。11月26日は、青梅市、奥多摩町の協力により実施いたしました。川崎市の多摩川河口のクリーンキャンペーンに参加された大田区都市基盤整備部都市基盤管理課計画調整担当の太田係長様に一言お願いします。

(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 太田 武彦 様)

11月12日(土)、川崎市でのクリーンキャンペーンに参加しました。ヨシ原の中に、アルミニウムの空き缶が多く捨てられていました。参加者みんなで和気あいあいと清掃活

動を行いました。清掃後、多摩川ゼロキロポストまで散策しました。干潟にも下り、景色を眺めましたが、大変広々としていて青空が大変きれいでした。参加して良かったです。今年度は1回参加できましたので、来年度は2回ほど参加したいと思っています。

(事務局)

有り難うございました。続きまして、同キャンペーンに参加された山崎運営委員に一言お願いします。

(山崎運営委員)

私の地元、川崎での清掃活動がやっと始まりました。大田区さんからも報告がありましたが、吉原の中のゴミが多いです。上流はだんだんとゴミが少なくなってきているそうなので、ぜひ次回は下流へ足を運んで一緒にゴミ拾いをお願いしたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。【資料2】の5枚目をご覧ください。羽村市様、狛江市様から実施報告書をいただきましたので、当フォーラムホームページにも掲載しております。始めに、羽村市産業振興課商工観光係主事の小作様に一言お願いします。

(羽村市 産業振興課 商工観光係 主事 小作 聡一 様)

羽村市では、11月13日(日)の午前8時～9時まで、羽村の堰周辺の多摩川河川敷および玉川上水沿い遊歩道の清掃活動を行いました。参加者は、羽村市職員のほか、市内企業の方々、総勢72名で実施しました。収集したゴミ量は140kgで、特に目立ったのは粗大ゴミの自転車でした。羽村の堰はサイクリングロードの終着点でもあるので、こういったゴミが目立ったのは残念です。また、バーベキュー関連のゴミもあり、今回きれいにできたことで、次回もきれいに使ってもらいたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。次に、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

狛江市では、11月6日(日)の午前9時～10時まで、市内一斉の清掃活動を行いました。参加者は、市民有志の方、小田急電鉄さん等1432人でした。ゴミの回収量は資料の通りです。今後も実施し、多摩川周辺の環境美化に寄与していきたいと思っています。

(6) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/10)【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。今年は10グループが発表を行いました。司会も発表も子どもたちが行うこのシンポジウムでは、今年も多くの感動をいただきました。本件につきましては、山崎教育文化副部長に一言お願いします。

(山崎運営委員)

今回でとうとう9回目を迎えました。来年は10回目となります。子どもたちは自由な発想で発表しています。多摩川流域でこのような発表は、他では見られません。多摩川流域ではなくても、多摩川が好きな子どもが参加したりしています。ぜひ皆さんのお子さんやお孫さんにも声をかけていただき、参加していただければ嬉しく思います。

(7) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/28～11/13)【資料5】

- ・【資料5】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。およそ半年に及ぶ多摩川11自治体交流イベントラリーは、11月に終了しました。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

多摩川11自治体交流イベントラリーは、その名の通り、多摩川11の自治体の既存のイベントをスタンプラリー形式でまわっていただくものです。このイベントラリーがきっかけで、初めて自治体のイベントに参加される方もいらっしゃいます。平成25年は4自治体、26年度は7自治体、27年度は10自治体、そして今年度は11自治体の参加となり、年々参加自治体が増加しています。次年度以降も実施してまいりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

(8)「多摩川酒蔵街道」号で行くお座敷列車の旅に企画協力(2/18)【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。前回は平成27年6月6日に実施され、大好評でしたが、今回も今月11日に販売後、約10日で120名満席完売となりました。なお、11月から12月にかけて実施された「多摩川酒蔵街道」はとバスツアーですが、はとバスの江澤運営委員に確認したところ、今年度は6本催行、延べ参加人数は262名で、いずれも満車で大好評とのことでした。

(9) 第8回桜ウォーキングと桜守学校開催(3/30)【資料7】

- ・【資料7】をご覧ください。今春も第8回桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集案内を開始する予定です。以上で、経過報告を終

わかります。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。第1号議案の「平成29年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)」ですが、事務局の方からご説明をお願いします。

5. 協議

(1) 第1号議案:平成29年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,000,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、10周年記念事業寄付金として、さらに青梅信用金庫様より2,000,000円、会員の皆さまから10周年記念事業寄付金として1,000,000円、東急百貨店様より300,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金3,124,667円と合わせて合計では16,774,667円となります。前回の運営委員会では、平成29年度美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業についてご承認をいただきました。その際、事業の見直しを行っても、なお不足事業費は約3,000,000円になることをお話しさせていただきましたが、そのうち2,000,000円は青梅信用金庫様からの寄付金で賄うことになりました。但し、残りの1,000,000円につきましては、会員の皆さまに何とかお願いできればと考えておりますが、実は1,000,000円という金額ですが、第1号議案をご案内させていただいた1月13日以降に判明した事情により、この金額を増額せざるを得ない可能性が出てまいりました。この点については、後ほどの意見交換で詳しくご説明させていただきますが、今回の協議では、このまま寄付金1,000,000円ということで進めさせていただきますと存じます。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,190,000円、各種活動費として11,180,000円を計上しております。なお、東北・夢の桜街道運動として、例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金見込額は1,404,667円となり、合計では、16,774,667円となります。

次ページは、平成28年度事業計画の主な実施内容になります。アンダーラインの9つの事業が10周年記念事業になります。簡単にご説明させていただきますと、まず、経済軸では、「多摩川カヌー駅伝大会」への協力です。

次に、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所の選定先等見直しについては、経年劣化の桜があることもあり、この際、八十八カ所の一部入れ替え等の見直しを行うもの

です。

環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)において、“桜”の記念植樹を行うイベントです。

教育・文化軸では、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会です。

総合軸では、10周年記念シンポジウムを考えました。10年間の実践活動を総括し、今後 10年間の展望した内容で検討しています。

10周年記念誌発行ですが、発足前後より10年間の足跡を冊子化すると共に、公式ホームページにも掲載したいと考えています。

100年プラン・パンフレットの改訂版発行についてですが、10周年記念を踏まえたものとし、さらに、前回発行時以降、フォーラムの事業活動が進化・発展しているため、実態に合わせてリニューアルしたいと考えています。

シンボルマークの制作ですが、10周年を機に新たに制作し、今後のフォーラム活動に活用できればと考えています。

ドローンを活用した多摩川の空撮ですが、桜が咲き誇る春に行い、その映像を様々な事業活動のPRに有効活用したいと考えています。

その次のページの(参考1)をご覧ください。平成28年度は、8月に「炭焼き体験と水辺の交流会」、11月には多摩川中流域の多摩市で開催予定の「美しい多摩川クリーンキャンペーン」が悪天候により中止となった他は、計画どおり順調に推移しております。次のページの(参考2)をご覧ください。平成28年度活動報告と今後の予定になります。後ほど、じっくりご覧ください。

以上で、第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

なお、第1号議案は、あくまで事務方素案であり、最終的には、総会提出議案を審議する3月14日開催の第3回運営委員会にて、決定されますことをお含みおきください。有り難うございました。以上で、協議事項が終了しました。

6. 意見交換

(1)フォーラム設立10周年の活動計画(事務方素案)について

(細野会長)

それでは、次の意見交換に移ります。事務局の方からお願いします。

(事務局)

前回の運営委員会で、「ドローンを活用した多摩川の空撮」について、「クラウドファン

ディングにより資金調達をしてはどうか」との提案を受け、事務局ではこれにチャレンジする方向で、専門家であるクラウドファンディング担当のエリアマネージャーも含め、12月上旬からおよそ1ヵ月に亘り、詳細を詰めてまいりました。しかしながら、専門家から「今回の案件は、広く一般から資金を集めることが難しいスキームであり、最終的に目標金額を集めるのは難しいのではないか」とのアドバイスを受けました。一方、会員の皆さまの中に、「ドローンを活用した多摩川の空撮について、フォーラム会員に投資を呼びかけてはどうか」とのご意見もあり、様々検討したのですが、そうすると、今度は先ほどご説明した記念事業寄付金との切り分けがあいまいになることから、事務局としては、最終的に今回のクラウドファンディングのチャレンジは見送ることとし、改めて会員の皆さまに記念事業寄付金によるご協力をお願いしたいと考えるに至りました。

但し、前回の運営委員会で、324,000円の予算では、「ドローンで空撮してビデオ化するにはあまりにも予算的に厳しいのではないか」とのご意見もありました。これにつきましては、事務局が見積りを業者に依頼したのが昨年7月のことであり、また、ドローンによる多摩川空撮の実施期間も2日以内という前提で見積りをお願いした経緯があるのですが、その後、ドローン需要の急拡大により、価格が急騰したほか、昨年11月から12月にかけて現地調査を行ったところ、最低でも3日かかることが判明しました。したがって、今後、「ドローンを活用した多摩川の空撮」については、金額の上振れを含む内容の見直しを行わざるを得ない状況にあります。こうした事情を踏まえ、先ほど皆さまにご承認いただいた議案で計上していた10周年記念事業寄付金 1,000,000円では不足するため、3月の28年度最終の運営委員会までに改めて増額する方向で検討させていただけたらと存じます。その際、フォーラム規約にありますように、行政会員を除く民間の運営委員の皆さまには、ぜひ寄付金にご理解・ご協力をお願いしたいと存じます。それでは、今回の件、あるいはその他の10周年活動計画についてご意見のある方はよろしくお願ひします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ドローンについては、100万ほど足りないと考えて良いですね。

(事務局)

実はいまお話をさせていただいた事情で、100万円のところが150万円になるのか200万円になるのか、次回の運営委員会までに精査して皆さまにご審議いただきたいと思っております。

(細野会長)

内容をもう少し吟味して、お金がかかるものを節約することができるかどうか、皆さんか

らご意見をいただきましょうか。

(藪田運営委員)

ドローンの件について、人気の高まりで価格が急騰しているとお話がありましたが、需要も高まっているので、比較的簡単に個人でドローン撮影ができるようです。もしかすると価格が下がってきているところもあるかもしれません。また、映像に、撮影する業者の広告を載せることで、広告費用を捻出するか、値段を下げてくださいことは可能でしょうか。

(事務局)

2つ目のご意見に関しては、3月までに検討させていただきたいと思います。1つ目のご意見ですが、ドローン撮影は我々が考えるほど単純ではなく、がんじがらめの規制があります。同じ川でも、左側からはOKだが右側からはNGという場合もあります。下流になると、羽田空港があるので、ドローンを飛ばすこと自体が禁止になります。ある程度規制のないフリーなところは上流になりますが、中下流域は住宅等が広がるので、規制が多くなっています。最終的には国交省に申請しなければなりません。申請が大変なので、代行業者まで現われているくらいです。今回ロケハンしたことによって、色々な事情がわかってきました。ということで、ドローン撮影は専門家にお任せするしかないと思った次第です。従って、お金も安くないという事情にあります。

(細野会長)

10周年記念誌発行代が高すぎると思うのですが、見積りは取りましたか？

(事務局)

業者から見積りを取り、さらに値段交渉した上での金額です。相場よりは安いと認識しております。

(細野会長)

インターネットで調べてみてください。我々も色々と報告書を出していますが、こんな金額にはなりません。

(事務局)

これは主にオールカラーの版代です。印刷そのものについては、部数が変わってもそれほど影響はないのですが、編集・制作に関わる金額となっています。印刷業者と第1回目のミーティングを行いました。これから台割があり、カラー写真をあてこんだりします。その写真等の素材も事務局が提供するのですが、その部分の制作に関してかな

りの時間を要するというので、人件費・制作費としてお話をいただいております。電子バージョンも作成し、ホームページに掲載する予定です。記念誌については、電子媒体だけではなく、紙で印刷して流域の小中学校に配ってPRしたらどうかというご意見もいただいているので、例えば、寄付金を皆さんにお願いした時、記念誌の裏側に企業の広告宣伝費等もお願いしながら寄付金を集めていきたいと思っております。

(細野会長)

これで100万円くらい浮かすことはできないか考えてみてください。学会でもそれを行っています。

(事務局)

わかりました。

(細野会長)

ほかにご意見はございますか。はい、どうぞ。

(東京都森林組合代表理事組合長 木村 康雄 様)

100万円ほど足りないということですが、全体を見た中で、事業計画が通常のものど記念行事の予算関係がいつしょくたになっており、今後民間に寄付をお願いする際、どれがどれだか分からないのではないかと思います。一般会計の部分と特別会計の部分に分け、一般会計からいくら補てんできるのかどうかを明確にしたほうが良いと思います。

(細野会長)

事務局はそのあたりの対応をよろしく申し上げます。ほかにありますか。

(事務局)

最後に京王電鉄株式会社広報部課長補佐の千坂様に、席上配付資料のご説明をお願いします。

(京王電鉄株式会社 広報部 課長補佐 千坂 航 様)

本日は、事務局から企業における環境の取り組みについて紹介してもらえないかとお話があり、弊社のCSRレポートをお配りしました。はじめに43頁を開いてください。京王電鉄は、東京の西部を事業エリアとしている鉄道会社です。調布・府中・日野あたりが重要エリアとなっており、多摩川上流域ではグループ会社のコミュニティバスがあきる野市や羽村市を走っています。このCSRレポートは、青(安全)、オレンジ(社会)、緑色(環

境)でカテゴライズされています。交通関係の企業ですので、安全第一に事業を展開しており、社会貢献、環境にも配慮しております。これら3つが重要であると位置付けて経営を進めております。環境の取り組みとして、58頁をご覧ください。鉄道は環境に優しい乗り物であるをご認識いただけていると思いますが、さらに電気を使わない鉄道を目指しております。CO2を削減することを重要視して取り組んでおります。具体的な金額は後ほどご覧いただきたいのですが、年間で55億円ほどを環境会計で計上しております。細かい環境の取り組みは66頁をご覧ください。弊社の事業エリアで重要な自然環境は多摩川と高尾山です。川については京王独自のクリーンキャンペーンを行っておりますし、高尾山では植樹活動を行っております。山崎様にもご協力いただきました。有り難うございます。最近のトピックスとしては、調布周辺の多摩川で植物の外来種駆除活動に参加しています。地元の方々と一緒に環境活動に取り組んでおります。多摩川フォーラムでも、人の面や住民の方の告知関係でご協力できると思いますので、よろしく願いいたします。

7. 総括・閉会

(平岡副会長)

平成29年度の予算が出てきました。来年度は10周年ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。今日の講話で、多摩川支流での護岸工事のお話がありました。支流と言うと、秋川があります。昨年9月に「第19回清流めぐり利き鮎会」があり、北海道から九州まで56の河川が参加し、それぞれのアユを持ちこんで、どこのアユが一番美味しいのか競う大会がありました。グランプリは北海道の朱太川、準グランプリは秋川のアユが選ばれました。アユは石に生えるコケを食べて育ちます。秋川の水がきれいだという証拠です。一方で、多摩川下流の葦には沢山ゴミがあるという話もありました。葦があるからまだ良いですが、これが無ければゴミが東京湾に流れ込んでしまい、マイクロプラスチックになって魚が食べ、いずれはそれを人間が食べるという、負の循環になってしまうので、なんとかゴミを減らさなければならないと思います。私も川崎に行ったことがあります。非常にゴミが多いのが気になります。ぜひ皆さんできれいにしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

それでは、平成28年度第2回運営委員会をお開きにいたします。次回の第3回運営委員会では、少し議論するお時間をいただきたいと思います。今日は有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)